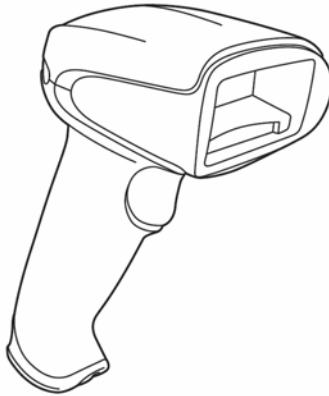


## Xenon 1900 プラグイン搭載モデル 設定ガイド

Ver.C



 <p><b>お問い合わせ先</b></p> <p><b>株式会社エイポック</b> 〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第2ビル 5F TEL:045-508-5201 FAX:045-501-5202 <a href="http://www.a-poc.co.jp">www.a-poc.co.jp</a></p>
---

- 製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
- 本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

# 目次

はじめに	3
第1章 プラグインの設定	4
1. 連結 QR コードの設定	5
2. GS1・フォーマットの設定	6
3. プラグインの無効化	10
第2章 日本語データ入力の設定	11
1. USBCOM ドライバのインストールとスキャナの設定	11
2. 無償ソフトウェア Easy Cather のインストールと設定	13
3. 有償ソフトウェア COM de KEY のインストールと設定	14
4. 日本語データ入力で困ったときは	15
5. コマンドプロンプトからのUSBCOM ドライバインストール	17
第3章 設定コード	19
第4章 サンプルバーコード	21

## はじめに

このたびは本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本書は次の内容について説明いたします。

- ・ ゼノン Xenon 1900 プラグイン搭載モデルの設定
- ・ 日本語データ入力の設定

**(注)**本製品の基本的な説明はユーザーズガイドをお読み下さい。

## Xenon 1900 プラグインとは

プラグインとは米国 Honeywell 社製 Xenon 1900 の追加機能です。プラグインは国内で独自に開発され、弊社が販売する Xenon 1900 に搭載されています。プラグインを搭載したスキャナは次の機能が利用可能です。

- ・ 連結 QR コードの読み取り
- ・ ジーエスワン G S 1 コードの編集出力

**(注)**プラグインは 2011 年 7 月中旬から弊社が出荷した製品に搭載されています。該当製品はご購入時の箱の中にある「クイックセットアップ」にプラグインの設定を記載しています。

## 日本語データ入力とは

2 次元コードが日本語データ(漢字、かな、カナ)を含めてコード化されている場合、スキャナのみではパソコンに正しくデータ入力を行えず、文字化けしたように入力します。正しく入力するには、(1)ユーエスビーコムUSBCOM ドライバのインストールとスキャナの設定変更、(2)キーボード入力ソフトウェアが必要です。

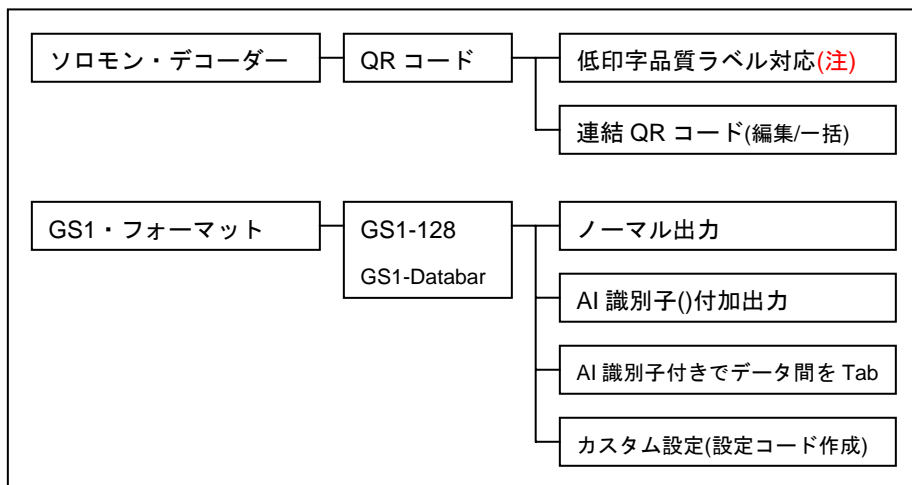
入力ソフトウェアは無償版 イージー キャッチャー Easy Catcher と有償版 コム デ キー COMdeKEY があります。

**(注)**お客様のシステムによっては、入力ソフトが不要場合があります。お客様の技術担当者にご相談ください。

**(注)**EasyCatcher は無償のためサポート外です。

## 第 1 章 プラグインの設定

プラグインは次の通り構成されています。



### ソロモン・デコーダー

ソロモン・デコーダーとは独自に開発された読み取り処理技術の名称です。QR コードに関する読み取りを行います。

#### 低印字品質ラベル対応

セルの太りがある QR コードの読み取りが可能です。

(注)連結 QR コードの設定を行うことで低印字品質対応が有効になるため設定コードはありません。

#### 連結 QR コード

連結 QR コードの読み取りパターンを設定することができます。

### GS1・フォーマット

GS1 コードの GS1-128、GS1-Databar、GS1 合成シンボルを AIデータバー (アプリケーション識別子)によって編集して出力することができます。パソコン用ソフトウェア「GS1 Format エーアイ フォーマット エディタ Editor」にて設定コードを作成してスキャナで読み取り設定します。フォーマットはお客様ご自身で作成したカスタム設定になります。本書には設定コードのサンプルも表示していますので動作の確認にお使い下さい。

## 1. 連結 QR コードの設定

(1) プラグインの有効化：①→②の順で設定コードを読み取って下さい。

### ①プラグイン有効化



- ・ソロモン QR デコーダ有効化
- ・Xenon QR デコーダ無効化

### ②スキャナの再起動



- ・再起動のブザーが鳴ったら編集設定を読み取って下さい

(2) 読み取りパターンを1つ選択して設定コードを読み取って下さい。

### 編集して出力



1個ずつ読み取り、すべて認識したらまとめて1データを出力

### 一括編集して出力



一括で読み取り、すべて認識したら1データを出力。  
※データ量が多いと時間がかかる場合があります

### 編集しないで出力



1個ずつ読み取ったごとにデータを出力(連結データになりません)

(注) 連結 QR コードの設定後は QR コードのデータフォーマットエディタが利用不可となります。利用可能にするにはプラグインの無効化と標準デコーダの QR コードのオンを設定して下さい。(p10)

### バーコード例

### 連結 QR コード

1234567890ABCDEFGHIJKLMNopqrstuvwxyz



## 2. GS1・フォーマットの設定

(1) プラグインの有効化：①→②→③→④の順で設定コードを読み取って下さい。

### ①プラグイン有効化



・GS1 フォーマットを有効化

### ②Code128 を有効にする



・GS1-128

### ③コンポジットを有効にする



・GS1 Databar(RSS)  
合成シンボルの2次元部分

### ④スキャナの再起動



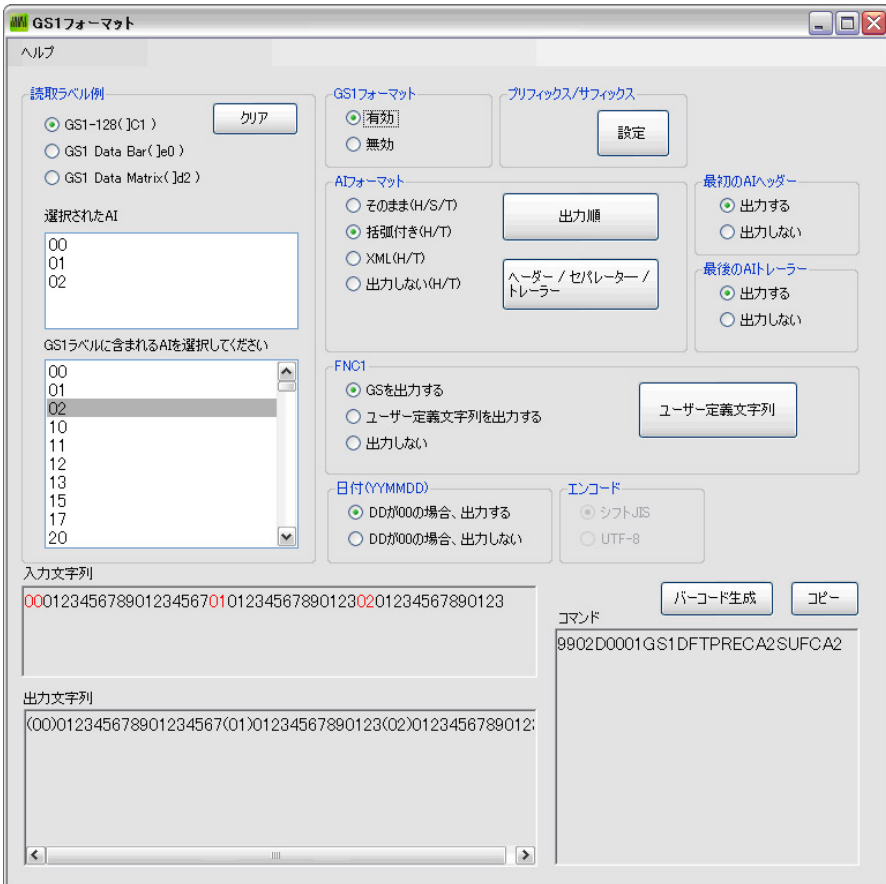
・再起動のブザーが鳴ったら  
GS1 フォーマットの設定コードを  
読み取って下さい

## (2) GS1 フォーマットの設定

GS1・フォーマット設定ソフトウェア「GS1 Format Editor」によって、GS1 の規格に基づき、データ出力のフォーマットを自由にカスタマイズすることが可能です。

「GS1 Format Editor」はダウンロードした本書と同じフォルダの中にあります。SetupGs1Editor.msi をダブルクリックしてパソコンにインストールして下さい。

**(注)** 現在、Windows 64 ビットは未対応です。今後対応予定です。



「GS1 Format Editor」で、希望するデータ出力フォーマットの設定を行った後、[バーコード生成]ボタンを押すことによって、設定コードが生成されます。GS1・フォーマットが有効化設定された Xenon1900 に、生成された設定コードを読ませることによって設定が反映されます。

(3) GS1 フォーマットの設定例

バーコード例

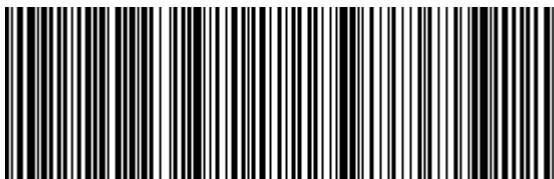
GS1 Databar Limited with Composite CC-A(GS1 RSS 合成シンボル)

(17)120831(10)ABCDE12



(01)14512345678903

GS1-128



(01)14512345678903(17)120831(10)ABCDE12

設定コード例

ノーマル出力



出力例 :

01145123456789031712083110ABCDE12

AI 識別子()付加出力



出力例 :

(01)14512345678903(17)120831(10)

ABCDE12

【備考】()を正しく出力しないときは、巻末のインターフェースの設定で「日本キーボード配列」を設定して下さい。

設定コード例 (続き)

AI 識別子付きでデータ間を TAB  
区切り出力



出力例：  
0114512345678903<TAB>  
17120831<TAB>10ABCDE12

AI 識別子なしでデータ間を TAB  
区切り出力



出力例：  
14512345678903<TAB>  
120831<TAB>ABCDE12

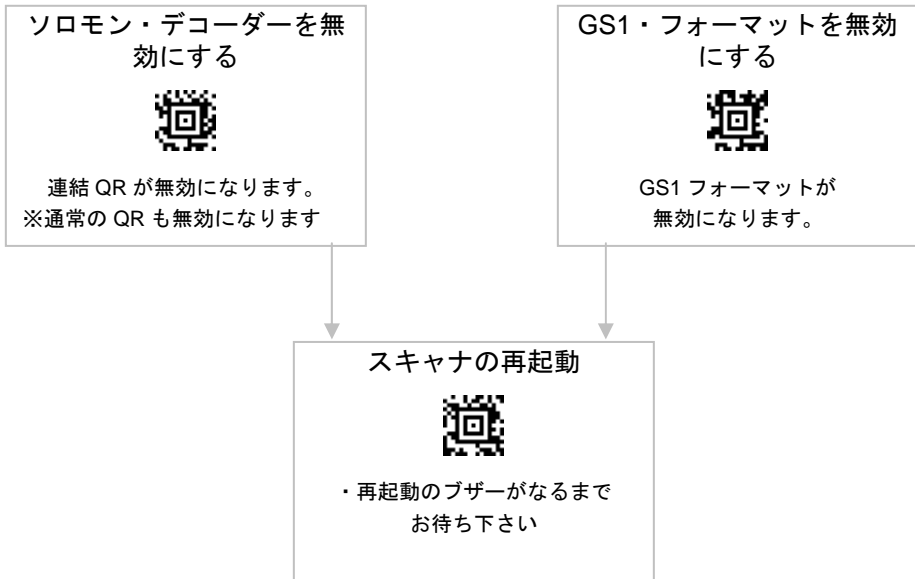
可変長 AI の終端 GS<FNC1>を  
TAB 区切り出力



出力例：(注)AI=30 などがあるとき。  
0114512345678903  
1712083130100<TAB>10ABCDE12

### 3. プラグインの無効化

それぞれのプラグインは、以下の設定コードにより無効にすることができます。各プラグインは、これらの設定コードによって一時的に無効化された場合でも、再び有効化された場合には、前回の設定が維持された状態で復帰します。これらの無効化設定を行った後には、必ず Xenon1900 の再起動を行って下さい。




#### 【備考】

ソロモン・デコーダーを無効化し、スキャナが再起動した後は通常の QR コードも読み取りが無効となっています。再び読み取るには5 ページを参照し、連結 QR コードの有効化の設定およびスキャナの再起動を行って下さい。

なお、Xenon 1900 標準のデコーダーによる QR コードの読み取りをオンにするときは、ソロモン・デコーダーを無効に設定した後、スキャナの再起動を行ってください。

(Xenon 1900 標準デコーダー)  
QR コードのオン



データフォーマットエディタは利用可能です  
低品質 QR と連結 QR に対応しません

## 第 2 章 日本語データ入力の設定

**重要**：はじめに、スキャナをパソコンから取り外しておいてください

ユーエスビーコム

### 1. USBCOM ドライバのインストールとスキャナの設定

(注) EasyCatcher、COMdeKEY いずれを使う場合も最初にドライバをインストールして下さい。

(1) フォルダ[HSM USB Serial Driver rxxx]を開いて下さい。フォルダの中から、お使いのパソコンに適切なファイルをダブルクリックしてください。



パソコンが 32 ビット版なら、Install\_x86.bat をダブルクリック

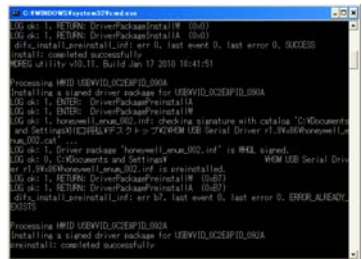


パソコンが 64 ビット版なら、Install\_x64.bat をダブルクリック

#### 【インストール中の画面】

・ Windows XP なら、黒い画面が表示されます。画面が自動的に閉じるまでお待ち下さい。

・ Windows 7 / Windows Vista なら、黒い画面が表示され、「このコンピューターへの変更を許可しますか?」という警告を何度か表示します。画面が閉じるまですべて[はい]を選択して下さい。

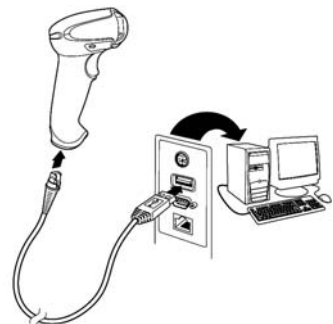


(注) 警告を表示したくない場合は P15 を参照し、コマンドプロンプトからドライバをインストールしてください。

(2) スキャナをパソコンに接続して下さい。

(3) パソコンが「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備が出来ました」と表示するまでお待ち下さい。

(注) 以前に接続したことがあるなら表示はありません。



(4) 設定コード[<sup>ユーエスビーコム</sup>USBCOM ポートエミュレーション]をスキャナで読み取ってください。「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と表示するまでお待ち下さい。



(5) **[重要]**スキャナの USB ケーブルを一度抜き差しして下さい。

(6) パソコンの[デバイスマネージャー]を開き、スキャナの<sup>コム</sup>COMポートの番号を確認してください。以上でドライバのインストールは終了です。



(注)COMの番号はパソコンによって異なります。

#### ◆<sup>コム</sup>COMポートの番号の確認方法

**Windows XP** :[スタート]-[マイコンピュータ]を右クリック-[プロパティ]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ] -[ポート(COM と LPT)]に[Xenon 1900 Area -Imaging Scanner (COMx)]を表示・・・COMの数字を確認して下さい。

**Windows 7**:スタートボタン-[コンピューター]-を右クリック-[プロパティ]-画面左上の[デバイスマネージャー]-[ポート(COM と LPT)]に[Xenon 1900 Area -Imaging Scanner (COMx)]を表示・・・COMの数字を確認して下さい。

#### ◆[Xenon 1900 Area -Imaging Scanner (COMx)]が表示されない場合

ドライバのインストールに失敗していることが考えられます。下記の操作を行ってください。

- 1.USB ケーブルを抜いて下さい。
- 2.Uninstall\_x86.bat(32 ビット)または Uninstall\_x64.bat(64 ビット)をダブルクリックして、ドライバを案インストールして下さい。インストール時と同じように黒い画面が出ます。Windows XP はしばらく待つと終了します。Windows 7 はインストール時と同じように最後まで[はい]を選択して下さい。
- 3.第 2 章のはじめからやり直して下さい。最初はケーブルを外しておいて下さい。

## 2.無償ソフトウェア EasyCatcherのインストールと設定

(注) EasyCatcher は無償のためサポート外です。

(注) EasyCatcher の詳しい説明は EasyCatcher フォルダの ReadMe.txt をお読み下さい。

(注) 以前のバージョンをインストール済みの場合、先にアンインストールして下さい。

(注) パソコンに必要なシステムが無い場合、自動的にインターネットへの接続を行い .Net Framework 3.5 のダウンロードとインストールを行います。

(1) フォルダ[EasyCatcher]を開いて下さい。EasyCatcherSetup103.EXE をダブルクリックし、パソコンにインストールして下さい。

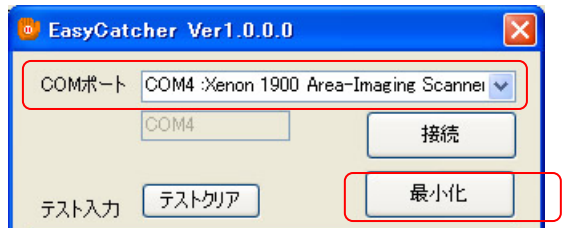
(2) EasyCatcher を立ち上げて下さい。

パソコンのスタートボタン-[すべてのプログラム]-[EasyCatcher]をクリック。

(3) タスクバーに Easy Catcher のアイコン（野球のグローブの絵）が表示されます。アイコンを右クリックし-[画面]をクリックして下さい。



(4) 設定画面から[COMポート]の番号をデバイスマネージャーで確認した COMポートの番号と同じ番号に設定して下さい。



(5) [最小化]をクリックして下さい。

Easy Catcher のアイコン（野球のグローブの絵）にボールが入っていることを確認して下さい。

以上で設定は完了です。



### ◆設定が完了したら

パソコンのメモ帳や Excel などを開き、バーコードの読み取りをお試し下さい。

動作確認用のサンプルバーコードを巻末に記載しております。

### 3.有償ソフトウェア COMdeKEYのインストールと設定

- (注) COMdeKEY はダウンロードしたファイルに含まれておりません。別途ご購入下さい。  
COM de KEY スタンダード版と COM de KEY プロフェッショナル版がございます。
- (注) COMdeKEY の詳しい説明はスタート-すべてのプログラム-COMdeKEY 説明書をお読み下さい。
- (注) COMdeKEY はヘキサデータの表示や入カトラブル時の詳細な対策設定を行えます。

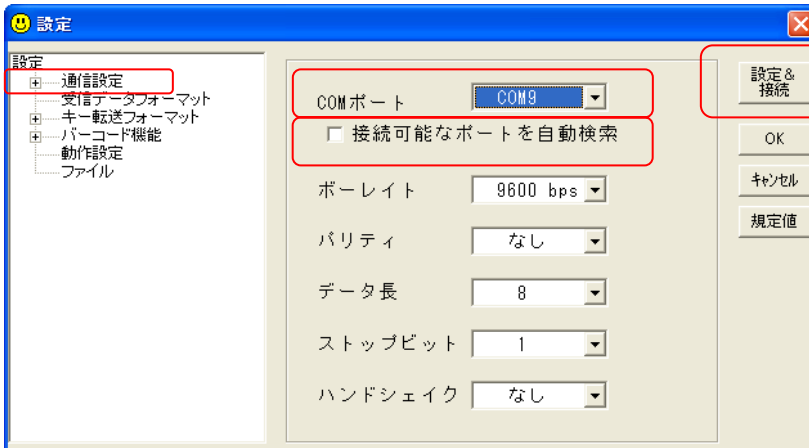
(1) COM de KEY をパソコンにインストールして立ち上げてください。

(2) タスクバーにある COM de KEY のアイコンをダブルクリック

し、メニューから[設定]をクリックしてください。



(3) 設定画面から[通信設定]を開き、[COM ポート]の番号をデバイスマネージャで確認した COM ポートの番号と同じ番号に設定してください。



(4) [接続可能なポートを自動検索]は、チェックを外して下さい。

(5) [設定 & 接続]をクリックして下さい。

COM de KEY のアイコンが黄色になることを確認して下さい。

以上で設定は完了です。



#### ◆設定が完了したら

パソコンのメモ帳や Excel などを開き、バーコードの読み取りをお試し下さい。

動作確認用のサンプルバーコードを巻末に記載しております。

## 4.日本語データ入力で困ったときは

うまく動作しない場合は下記の表をご覧ください、対策を実施してください。対策を実施しても症状が改善しない場合は弊社までお問い合わせ下さい。

症状	原因	対策
2次元バーコードの日本語が正常に入力できない。英数字しか入力しない	スキャナが USB COM ポートエミュレーションに設定されていない	P11~P12 をお読みいただき USB COM ドライバをパソコンにインストールし、スキャナを USB COM ポートエミュレーションに設定して下さい。
USB COM ドライバをインストールできない	パソコンに制限付きアカウントでログインしている。	企業などの管理されたパソコン境では、ドライバソフトウェアのインストールが制限されている場合があります。お客様のシステム担当者にご相談下さい。
データをパソコンに転送しない	日本語データ入力ソフトが立ち上がっていない	Windows の[スタート]-[すべてのプログラム]-[Easy Catcher]または [COMdeKEY]をクリックして立ち上げて下さい。
	ソフトウェアの設定画面が開いたままになっている。	Easy Catcher 設定画面の[最小化]をクリックして設定画面を閉じてください。 COMdeKEY 設定画面の[接続&設定]をクリックして設定画面を閉じてください。COM-de-KEY が通知領域にアイコン化し、アイコンが黄色のとき、データ転送します。水色のときは読み取り出来ても転送しません。
	COM 番号が間違っている	デバイスマネージャで COM 番号を確認して下さい。 ソフトウェアの設定画面で[COM ポート]にデバイスマネージャで確認した COM 番号を設定して下さい。

症状	原因	対策
<p>入力したデータや Enter、Tab が抜ける</p>	<p>パソコンのキーデータ受け付け処理が遅れている</p>	<p>Easy Catcher をいったん終了し、Easy Catcher の設定ファイル comset.ini のパラメータを次のように書き換えて上書き保存して下さい。</p> <p>KeyDelay=0 を  <a href="#">KeyDelay=10</a> に変更  KeyDelayENT=0  <a href="#">KeyDelayENT=20</a> に変更</p> <p>詳細は EasyCatcher フォルダ内の ReadMe.txt 内【設定ファイルの変更】をお読み下さい。</p> <hr/> <p>COM de KEY の[設定]-[キー転送フォーマット]-[キー入力トラブル対策]-ENTER・TAB キーの前後にウエイトに数字の <a href="#">10~2000</a> を入力して下さい。</p> <p>同じ設定画面で <a href="#">1</a> キー毎の押下時間に数字の <a href="#">10~100</a> を入力して下さい。</p>
<p>入力したデータが改行しない</p>	<p>スキャナにサフィックスが設定されていない</p>	<p>設定コードの[サフィックスの設定]-[全てのシンボルに CR(ENTER)を付加する]をスキャンして設定変更して下さい</p>

## 5. コマンドプロンプトからの USBCOM ドライバインストール

Windows 7 や Windows Vista は、ドライバファイルをダブルクリックでインストールやアンインストールを行うと「このコンピューターへの変更を許可しますか?」という警告を何度も表示します。表示したくない場合は、下記の例を参照しコマンドプロンプトからインストールしてください。

### インストールの例

(注)実際にはお客様のシステム管理者にご相談いただき、適切な操作を行ってください。

- (1) 解凍後のドライバのフォルダ「HSM USB Serial Driver rxxx」をフォルダごとコピーして、パソコンの C ドライブ直下に貼り付けてください
- (2) ドライバのフォルダを右クリック-[名前を変更]を選択し、半角で「HSMUSBCOM」と入力しフォルダの名前を変更してください(フォルダ名は後でキーボード入力するので、入力しやすい適当な半角英数の名前をつけて下さい)。
- (3) Windows の[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]を右クリックし[管理者として実行]をクリックしてください。「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示したら「はい」を選択してください。
- (4) コマンドプロンプトが C:¥Windows¥system32>と表示したら続けて「cd ..」(アルファベットの cd、スペース 1 つ、ピリオド 2 つ)を入力し Enter キーを押してください。  
入力イメージ C:¥Windows¥system32>cd ..
- (5) コマンドプロンプトが C:¥Windows>と表示したら続けて「cd ..」を入力し Enter キーを押してください。  
入力イメージ C:¥Windows>cd ..

- (6) コマンドプロンプトが C:¥> と表示したら続けて「cd HSMUSBCOM」（cd、スペース 1 つ、C ドライブ直下に作成したドライバフォルダ名）を入力し Enter キーを押してください。

**入カイメージ** C:¥>cd HSMUSBCOM

- (7) コマンドプロンプトが C:¥USBCOM> と表示したら続けて「Install\_x86.bat」を入力し Enter キーを押してください（システムが 32 ビット版の場合）。ドライバのインストールが始まり、画面の文字がスクロールします。スクロールが停止するまでしばらくお待ち下さい。

**入カイメージ** C:¥HSMUSBCOM>Install\_x86.bat

(注)64 ビット版の場合 C:¥HSMUSBCOM>Install\_x64.bat

- (8) インストールが成功したら画面のスクロールが停止し、最終行付近に「preinstall: completed successfully」と表示します。コマンドプロンプトに「exit」を入力し Enter キーを押すと、コマンドプロンプトを閉じて終了します。

**入カイメージ** C:¥HSMUSBCOM>exit

## 第3章 設定コード

よく使う設定コードを記載しております。

すべての設定は Xenon 1900 ユーザーズガイドをお読み下さい。

### インターフェースの設定

\*USB キーボード  
英語キーボード配列



USB キーボード  
日本キーボード配列



### ブザー音量 - グッドリード

Low(低)



Medium(中)



\* High(高)



Off(オフ)



### サフィックスの設定

サフィックスはバーコードデータの後に付加するキーの設定です。

\*全てのシンボルの  
サフィックスに  
CR(ENTER)を付加する



全てのシンボルの  
サフィックスに  
TAB を付加する



サフィックスを  
クリア(消去)する



## 初期設定のリセット

工場出荷時の設定に戻す



プラグインを使っていない場合、このメニューのみで初期化できます

## スキャナの再起動



プラグインも初期化する場合  
①初期設定のリセット→②スキャナの再起動を読み取って下さい

## 第 4 章 サンプルバーコード

### QR コード

①QR コード 英数のみ

データ 12345ABCDE



②QR コード 日本語を含む

データ 1900GHD-1USB は、バーコードと2次元バーコードの読み取りが可能です。



③連結 QR コード 英数のみ

データ 1234567890ABCDEFGHIJKLMNopqrstuvwxyz



④連結 QR コード 日本語を含む

データ エイポックの 1900GHD-1USB はプラグインを搭載し連結 QR コードの編集読み取りが可能です。



## GS1 コード

【備考】主な AI の意味

01=商品コード、17=保証期限日(使用期限など)、30=数量、10=ロット番号

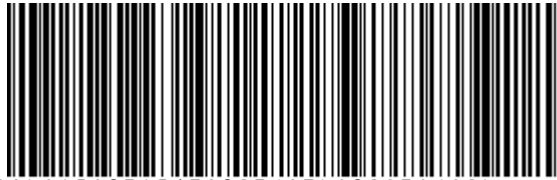
### ①GS1 Databar Limited with Composite CC-A(GS1 RSS 合成シンボル)

(17)120831(10)ABCDE12



(01)14512345678903

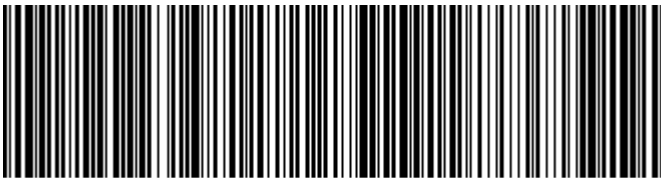
### ②GS1-128



(01)14512345678903(17)120831(10)ABCDE12

### ③GS1-128

途中に可変長 AI あり 30=可変長 AI



(01)14512345678903(17)120831(30)100(10)ABCDE12